

令和3年度 自己評価結果報告書

社会福祉法人ゆうゆう 認定こども園 すみよし愛児園

1. 本園の教育・保育目標

当園では理念として『素朴に丁寧な純真に忍耐強く、子どもを軸として連動する絆を結び、未来社会への人づくり、国づくりの基礎(基盤)力を育む』を掲げています。また、教育保育目標として、目指す乳幼児像は次の3項目になります。

- 1、思いやりのある子ども 2、意欲のある子ども 3、生活の中での決まりの守れる子ども

2. 重点的に取り組んだ目標・評価

一人ひとりの興味関心、個性に寄り添い、子ども自らの気づきを大切にしながら、子ども達にとって様々な経験となるようにした。また、職員同士も振り返り、語り合いを十分に行い保育の質を全職員で高めていけるようにした。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
特色を生かした保育を計画し、実践していく。また、評価反省を行う中で、子ども達の情緒が安定し、それぞれの興味関心等がしっかりと保障されていくようにする。	子ども達一人ひとりの声にしっかりと寄り添い、より日常が送れるようにした。子ども達の興味関心に合わせ室内環境の整備も行った。
認定こども園としての専門性を保育者一人ひとりが理解し、教育保育の質の向上を図るため、園内研修や職員での保育観の語り合いを充実させていく。	お互いに保育観を出し合い、語り合う機会を作り、他の職員がどんな考えや価値観を持っているかを知ることで様々な視点で子ども達の育ちが見守れるようにした。園内研修を通して、より理論的に子ども達の姿が捉えられるようにしていった。
日々の健康観察や疾病予防のための取り組み、衛生管理等を行い、子ども達が安全で安心な生活が送れるよう努めていく。	看護師による日々の体調管理や、園内の消毒等の徹底を行った。また、職員への周知や研修も行い、職員自身もしっかりとした知識が深められるようにした。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員間での振り返り等を充実させ、日常を大切に保育を行ってきたが、今後は自分たちの保育や大切にしている事をさらに保護者等に伝える工夫をしていく。その為に保育教諭としての見る視点だけでなく、しっかりと理論も身に付けていく必要がある。法人内を含めた園内研修の充実も図り、継続的に学ぶ機会を作っていく。そのような理論等を本に自分達の保育、環境を振り返り見直し、整えていくことを大切にしていく。

5. 今後取り組むべき課題

保育内容・保育環境の充実	今後も園内研修の充実を図り、職員全体で保育の質を高めていけるようにする。子ども達一人ひとりとしっかりと向き合い目の前にいる子ども達にとってどんな保育、環境を作っていくかをその都度検討していく。
危機管理(衛生管理・安全管理)	看護師等の専門知識を職員で共有し、何かあった際に対応ができるように努めていく。新型コロナウイルス感染症への心配も続いている為、園内の感染拡大防止に今後も努めていく。
子育て支援への取り組み	新型コロナウイルス感染症により各家庭で抱える課題や問題も複雑になってきている。保護者との日々のやりとりを大切に、保護者の心にも寄り添っていけるようにする。また、保育教諭だけでなく社会福祉士や看護師といった専門的な関りも充実させ広い支援ができるようにする。子育て支援センターには保健師さんからの紹介も多い為、連携して支援を行っていく。

6. 学校関係者の評価

子ども達が毎日楽しく、日々が充実している事を感じている。コロナの心配はずっと続いているが、そんな中でも子ども達にとってどんな事が大切かを考えてくれている。子ども達が何かを我慢するのではなく、このような状況の中でも、子ども達の日常が変わらず送れたことはありがたいと思っている。

令和3年度 自己評価結果報告書

社会福祉法人ゆうゆう 認定こども園 すみよし愛児園

1. 本園の教育・保育目標

当園では理念として『素朴に丁寧な純真に忍耐強く、子どもを軸として連動する絆を結び、未来社会への人づくり、国づくりの基礎(基盤)力を育む』を掲げています。また、教育保育目標として、目指す乳幼児像は次の3項目になります。

- 1、思いやりのある子ども 2、意欲のある子ども 3、生活の中での決まりの守れる子ども

2. 重点的に取り組んだ目標・評価

一人ひとりの興味関心、個性に寄り添い、子ども自らの気づきを大切にしながら、子ども達にとって様々な経験となるようにした。また、職員同士も振り返り、語り合いを十分に行い保育の質を全職員で高めていけるようにした。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
特色を生かした保育を計画し、実践していく。また、評価反省を行う中で、子ども達の情緒が安定し、それぞれの興味関心等がしっかりと保障されていくようにする。	子ども達一人ひとりの声にしっかりと寄り添い、より日常が送れるようにした。子ども達の興味関心に合わせ室内環境の整備も行った。
認定こども園としての専門性を保育者一人ひとりが理解し、教育保育の質の向上を図るため、園内研修や職員での保育観の語り合いを充実させていく。	お互いに保育観を出し合い、語り合う機会を作り、他の職員がどんな考えや価値観を持っているかを知ることで様々な視点で子ども達の育ちが見守れるようにした。園内研修を通して、より理論的に子ども達の姿が捉えられるようにしていった。
日々の健康観察や疾病予防のための取組み、衛生管理等を行い、子ども達が安全で安心な生活が送れるよう努めていく。	看護師による日々の体調管理や、園内の消毒等の徹底を行った。また、職員への周知や研修も行き、職員自身もしっかりとした知識が深められるようにした。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員間での振り返り等を充実させ、日常を大切に保育を行ってきたが、今後は自分たちの保育や大切にしている事をさらに保護者等に伝える工夫をしていく。その為に保育教諭としての見る視点だけでなく、しっかりと理論も身に付けていく必要がある。法人内を含めた園内研修の充実も図り、継続的に学ぶ機会を作っていく。そのような理論等を本に自分達の保育、環境を振り返り見直し、整えていくことを大切にしていく。

5. 今後取り組むべき課題

保育内容・保育環境の充実	今後も園内研修の充実を図り、職員全体で保育の質を高めていけるようにする。子ども達一人ひとりとしっかりと向き合い目の前にいる子ども達にとってどんな保育、環境を作っていくかをその都度検討していく。
危機管理(衛生管理・安全管理)	看護師等の専門知識を職員で共有し、何かあった際に対応ができるように努めていく。新型コロナウイルス感染症への心配も続いている為、園内の感染拡大防止に今後も努めていく。
子育て支援への取り組み	新型コロナウイルス感染症により各家庭で抱える課題や問題も複雑になってきている。保護者との日々のやりとりを大切に、保護者の心にも寄り添っていけるようにする。また、保育教諭だけでなく社会福祉士や看護師といった専門的な関りも充実させ広い支援ができるようにする。子育て支援センターには保健師さんからの紹介も多い為、連携して支援を行っていく。

6. 学校関係者の評価

園内研修等の内容が充実しており、職員自身の向上や保育の質の向上が認められる。また、子ども達への視点、子ども達の姿の捉え方も含め、このような職員集団があることを保育士を養成する立場としても嬉しく感じている。保育実践も通して、すみよし愛児園としての保育を高めていって欲しい。

令和3年度 自己評価結果報告書

社会福祉法人ゆうゆう 認定こども園 すみよし愛児園

1. 本園の教育・保育目標

当園では理念として『素朴に丁寧に純真に忍耐強く、子どもを軸として連動する絆を結び、未来社会への人づくり、国づくりの基礎(基盤)力を育む』を掲げています。また、教育保育目標として、目指す乳幼児像は次の3項目になります。

- 1、思いやりのある子ども 2、意欲のある子ども 3、生活の中での決まりの守れる子ども

2. 重点的に取り組んだ目標・評価

一人ひとりの興味関心、個性に寄り添い、子ども自らの気づきを大切にしながら、子ども達にとって様々な経験となるようにした。また、職員同士も振り返り、語り合いを十分に行い保育の質を全職員で高めていけるようにした。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
特色を生かした保育を計画し、実践していく。また、評価反省を行う中で、子ども達の情緒が安定し、それぞれの興味関心等がしっかりと保障されていくようにする。	子ども達一人ひとりの声にしっかりと寄り添い、より日常が送れるようにした。子ども達の興味関心に合わせ室内環境の整備も行った。
認定こども園としての専門性を保育者一人ひとりが理解し、教育保育の質の向上を図るため、園内研修や職員での保育観の語り合いを充実させていく。	お互いに保育観を出し合い、語り合う機会を作り、他の職員がどんな考えや価値観を持っているかを知ることで様々な視点で子ども達の育ちが見守れるようにした。園内研修を通して、より理論的に子ども達の姿が捉えられるようにしていった。
日々の健康観察や疾病予防のための取組み、衛生管理等を行い、子ども達が安全で安心な生活が送れるよう努めていく。	看護師による日々の体調管理や、園内の消毒等の徹底を行った。また、職員への周知や研修も行い、職員自身もしっかりとした知識が深められるようにした。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員間での振り返り等を充実させ、日常を大切に保育を行ってきたが、今後は自分たちの保育や大切にしている事をさらに保護者等に伝える工夫をしていく。その為に保育教諭としての見る視点だけでなく、しっかりと理論も身に付けていく必要がある。法人内を含めた園内研修の充実も図り、継続的に学ぶ機会を作っていく。そのような理論等を本に自分達の保育、環境を振り返り見直し、整えていくことを大切にしていく。

5. 今後取り組むべき課題

保育内容・保育環境の充実	今後も園内研修の充実を図り、職員全体で保育の質を高めていけるようにする。子ども達一人ひとりとしっかりと向き合い目の前にいる子ども達にとってどんな保育、環境を作っていくかをその都度検討していく。
危機管理(衛生管理・安全管理)	看護師等の専門知識を職員で共有し、何かあった際に対応ができるように努めていく。新型コロナウイルス感染症への心配も続いている為、園内の感染拡大防止に今後も努めていく。
子育て支援への取り組み	新型コロナウイルス感染症により各家庭で抱える課題や問題も複雑になってきている。保護者との日々のやりとりを大切にし、保護者の心にも寄り添っていけるようにする。また、保育教諭だけでなく社会福祉士や看護師といった専門的な関りも充実させ広い支援ができるようにする。子育て支援センターには保健師さんからの紹介も多い為、連携して支援を行っていく。

6. 学校関係者の評価

子ども達への丁寧な関りが感じられる。日々の中でも職員の子どもへの言葉のかけ方、タイミングなどがしっかりと意識されている。また、保健師といった地域とのつながりもしっかりとあり、園だけでなく広く保護者への支援もできている。
新型コロナウイルス感染症の感染もほぼなく、子ども達の日々が保障されていると感じている。